

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成 25年 6月 27日

兵庫県知事 殿

提出者

住 所 兵庫県明石市川崎町1番1号

氏 名 川崎重工業株式会社 明石工場

明石工場事務所長 岡本 望

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 078-921-1846

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	川崎重工業株式会社 明石工場
事業場の所在地	兵庫県明石市川崎町1番1号
計画期間	平成25年4月1日から平成26年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3111 自動車製造業(二輪含む)、2512 蒸気機関・タービン・水力・タービン製造業、3142 航空機用原動機製造業
②事業の規模	製品出荷額 27,759 百万円 (平成24年度実績)
③従業員数	3,773人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度 (                      年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	t
	(これまでに実施した取組) ゼロエミッションへの積極的な取り組みを行っている。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	排 出 量	t
	(今後実施する予定の取組) 最終処分率1%以下になるように努める。	

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 発生する廃棄物には各々廃棄場所を指定し、他の廃棄物と混合しないように保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の分別を維持し、更なる再生利用に繋げていきたい。

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t                      t
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t                      t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	別紙のとおり                      t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t                      t
	(これまでに実施した取組) 脱水汚泥の含水率の管理。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	別紙のとおり                      t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t                      t
	(今後実施する予定の取組) 高効率の脱水機を導入予定。(平成25年9月導入予定)	

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t                      t
	(これまでに実施した取組) 特になし。	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t                      t
	(今後実施する予定の取組) 特になし。	

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t                      t
	優良認定処理業者への処理委託量	t                      t
	再生利用業者への処理委託量	t                      t
	認定熱回収業者への処理委託量	t                      t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t                      t
	(これまでに実施した取組) 産廃業者と委託契約を締結する場合は、社内規程に基づき、事前に現地視察を行い書類として記録をとり、委託後も定期的に現地視察し確認を行った。	

②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙のとおり
	再生利用業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
	(今後実施する予定の取組) 引き続き定期的に現地視察を行い、適正処理に努める。	
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

当該事業廃棄物において現に行っている事業に関する事項

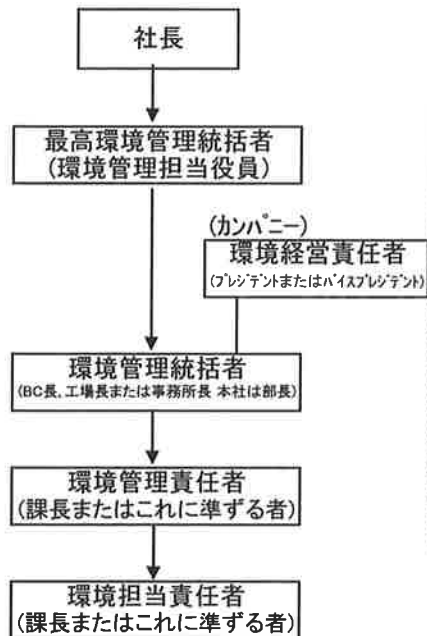
○産業廃棄物の一連の処理の工程

発生フロー及び委託処理フローは図1～6を参照。

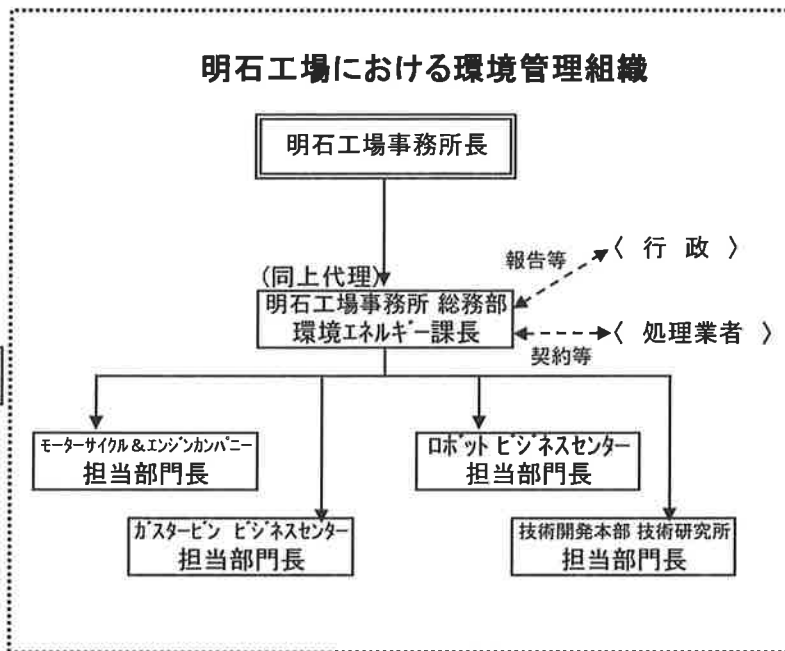
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

全社による環境管理組織



明石工場における環境管理組織



【分担】

担 当: 明石工場事務所 総務部 環境エネルギー課

- ① 構内のマテリアルフローの把握、総合的な廃棄物減量計画の立案
- ② 構内の廃棄物処理計画等の策定、部署間の調整、行政への報告
- ③ 処理委託業者の選定、廃棄物処理委託契約等手続き、引渡し適正処理の確認
- ④ 構内の他部署への関係法令等の教育、啓発、指導監督
- ⑤ 構内従業員への分別方法等の徹底

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

○現状 前年度(平成24年度)実績

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
排出量	1 t	1,908 t	2,782 t	18 t	85 t	386 t

産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
排出量	287 t	231 t	28 t	9 t	1 t	5,736 t

○計画 平成25年度目標 前年度比1%削減

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
排出量	1 t	1,889 t	2,754 t	18 t	84 t	382 t

産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
排出量	284 t	229 t	28 t	9 t	1 t	5,679 t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

○現状 前年度(平成24年度)実績

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○計画 平成25年度目標 前年度比1%削減

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
自ら再生利用を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

○現状 前年度(平成24年度)実績

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により原料した量	0 t	1,720 t	0 t	10 t	33 t	0 t
産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により原料した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1,763 t

○計画 平成25年度目標 前年度比1%削減

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により原料した量	0 t	1,703 t	0 t	10 t	33 t	0 t
産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
自ら熱回収を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
自ら中間処理により原料した量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	1,745 t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

○現状 前年度(平成24年度)実績

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t

○計画 平成25年度目標 前年度比1%削減

産業廃棄物の種類	0100 燃え殻	0200 汚泥	0300 廃油	0400 廃酸	0500 廃アルカリ	0600 廃プラスチック類
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t
産業廃棄物の種類	0800 木くず	1200 金属くず	1300 ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類	1800 ばいじん	合計
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t	0 t





図1. 二輪車・エンジン組立工程

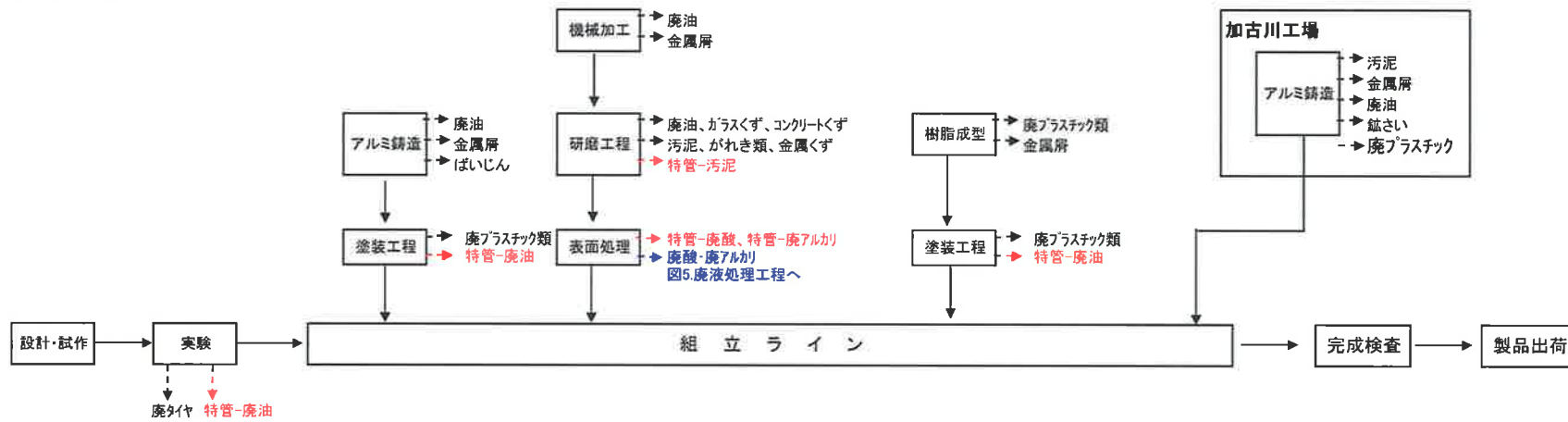


図2. ガスタービン部品組立工程

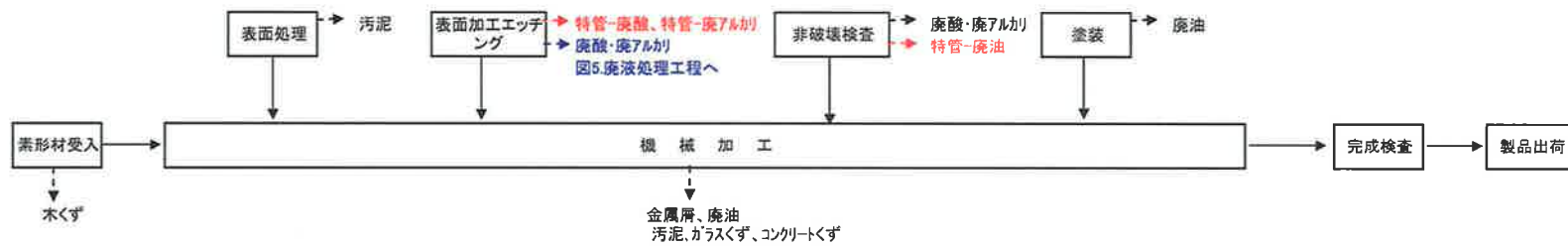


図3. 燃焼実験

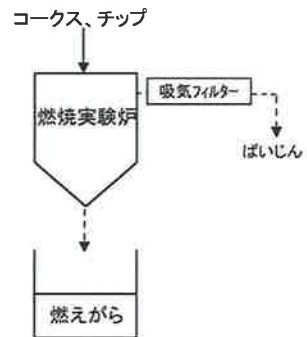


図4. 診療所

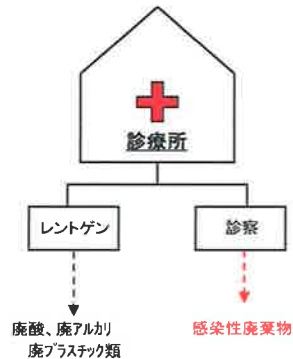


図5. 廃液処理工程

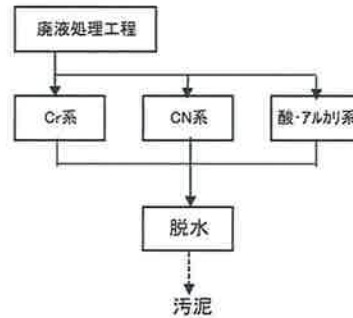


図 6 (廃棄物処理フロー図)

